

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士専攻科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	臨床支援技術学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	通年	教室名	
担当教員	木田 博太、岩田 雄平	実務経験とその関連資格	大阪国際がんセンター・大阪急性期・総合医療センターにて、臨床工学技士のタスクシフトに関する業務に多数従事。臨床工学技士資格更新済。			
《授業科目における学習内容》						
臨床支援技術学について、臨床工学技士が実施するタスクシフト業務を中心に、新たに実施されている各種業務についても総合的に理解することを目的とする。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験(70%)と出席、授業中の課題(30%)を総合的に判断する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
臨床工学講座医用治療機器学(医歯薬出版)						
《授業外における学習方法》						
教科書や配布資料について、適宜復習を実施する。						
《履修に当たっての留意点》						
人体の構造、生体代行装置学についての基本的な知識があると理解しやすい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	臨床工学技士が実施するタスクシフト業務を中心に、臨床支援技術学の概要を理解する。	配布資料、教科書		生体代行装置学についての簡単な予習する。
		各コマにおける授業予定	臨床支援技術学 概論			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各種血液浄化について、対象疾患・実施方法を理解する。	配布資料、教科書		生体代行装置学での、血液透析について予習する。
		各コマにおける授業予定	血液浄化概論			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各種穿刺の方法・注意点について理解する。	配布資料、教科書		前回の授業内容を復習する。
		各コマにおける授業予定	穿刺対応			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	在宅呼吸が実施される対象疾患や機器について理解する。	配布資料、教科書		生体代行装置学での、人工呼吸器について予習する。
		各コマにおける授業予定	在宅呼吸①			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	在宅呼吸が実施される対象疾患や機器について理解する。	配布資料、教科書		前回の授業内容を復習する。
		各コマにおける授業予定	在宅呼吸②			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	ペースメーカと臨床工学技士が関与する遠隔モニタリングについて理解する。	配布資料、教科書	臨床医学総論での、血液疾患について予習する。
		各コマにおける授業予定	ペースメーカ、遠隔モニタリング全般		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	末梢血幹細胞採取が実施される疾患と方法について理解する。	配布資料、教科書	ペースメーカについて、予習する。
		各コマにおける授業予定	末梢血幹細胞採取		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	アブレーションの概要について、対象疾患・治療法を中心に理解する。	配布資料、教科書	心臓の構造や、心臓疾患について予習する。
		各コマにおける授業予定	アブレーション		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	消化器内視鏡の検査・治療について理解する。	配布資料、教科書	消化管疾患について予習する。
		各コマにおける授業予定	消化器内視鏡①		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	消化器内視鏡の検査・治療について理解する。	配布資料、教科書	前回の授業内容を復習する。
		各コマにおける授業予定	消化器内視鏡②		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	除細動を必要とする不整脈、除細動器の概要について理解する。	配布資料、教科書	致死性不整脈について予習する。
		各コマにおける授業予定	除細動概論		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	手術時に実施される外科内視鏡について機器を含めて理解する。手術支援ロボットについて、対象疾患やその実際を理解する。	配布資料、教科書	臨床医学総論での、手術について予習する。
		各コマにおける授業予定	外科内視鏡、手術支援ロボット		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	麻酔科学、集中治療についての概要を理解する。	配布資料、教科書	麻酔器の構造について予習する。
		各コマにおける授業予定	麻酔学全般、集中治療		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	臨床工学技士が実施する麻酔補助業務について、麻酔器を中心に概要を理解する。	配布資料、教科書	前回の授業内容を復習する。
		各コマにおける授業予定	麻酔補助		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	重要事項について復習を行い、臨床支援技術学の理解を深める。	配布資料、教科書	授業を通じて、各自が理解不足な点を洗い出す。
		各コマにおける授業予定	まとめ・復習		